

ビジュアル・エイズとS/N+PEOPLE 2023+

ビジュアル・エイズ (Visual AIDS) とは：エイズに関する世界唯一の現代アート非営利団体。アートコミュニティにおけるエイズの影響を記録しようとアート批評家やキュレーターがニューヨークで1988年に設立しました。

ビジュアル・エイズ 短編映像集

《Everyone I Know Is Sick》

上映

ノーマルスクリーンとは 2015年から東京を拠点に主に性的マイノリティの体験を描いた作品を上映しているインディペンデントのプロジェクト。ビジュアル・エイズによる映像集は7年連続で日本に紹介しています。2018年からは毎年京都で《Queer Visions》を共催しています。



ダムタイプ (Dumb Type) とは：京都をベースとするアーティスト・コレクティブ。1984年に京都市立芸術大学の学生を中心として結成されて以来、現在に至るまで日本を代表とするアーティストとして活動を続けています。

パフォーマンス《S/N》とは

ダムタイプが1994年から1996年にかけて世界17ヵ国で上演した舞台パフォーマンス作品。ダムタイプの中心的メンバーであった古橋大二 (1960-1995) は1992年にエイズを発症し、自身のHIV陽性の事実とゲイであることを友人たちにカミングアウトしました。《S/N》はその状況を背景に制作・上演されました。今回はその記録映像を、作曲家としてダムタイプに中心に関わってきた山中透のオーサリング (記録されたデータの編集) と音響オペレーションにより、公演当時の臨場感に近い状態で上映します。上映時間約80分。

／トーク／ 1992年の古橋大二のカミングアウトをきっかけに広がった市民運動に携わった人々のうちからお二人の方に、当時の様子や《S/N》が現在の社会に及ぼした影響について聞きます。

あかたちかこ

〔コミュニティ・カウンセラー〕

佐藤 知久

〔京都市立芸術大学教員〕

ブブ・ド・ラ・マドレーヌ

〔アーティスト、《S/N》出演者〕

／聞き手／

ダムタイプ《S/N》 記録映像 上映とトーク

+PEOPLE 2023+

《HIV/エイズの40年： 歴史と人との出会い、そしてつながる》

HIV/エイズとそれに深い関係の深い領域で活動してきた関西と北陸地域の市民運動団体がロビーでの展示を企画しました。メモリアル・ドキュメント・アクションの三つのテーマで構成されます。

／メモリアル／

～あなたのことを忘れない

エイズで亡くなられた方々一人一人の人生を遺族や友人が90cm × 180cmの布に縫い上げた《メモリアルキルト》は圧巻です。エイズで亡くなった先達の人となり、思いや願いを感じてください。また、亡くなった家族に向けて薬害エイズ被害者遺族が今の「想い」を綴った冊子《たんぽぽの詩 空に架けるタペストリー》を紹介しします。

／ドキュメント／

～HIVがつなぐ人々

1980年代後半から現在に至るHIV/エイズ40年間の歴史を一挙公開。関西の4団体とアーティストが合同で作成した《年表》をこの日にお披露目します。世界と日本国内の動き、薬害エイズに関わる事柄、抗ウイルス薬の変化、主に関西NGOの足跡・道のりを文字と写真で一瞥できます。また、これらの活動をつくってきた人々と、個別に《インタビュー映像》で出会うことができます。

／アクション／

～今、できること

これからボランティアで関わってみたいけどできるかな？コミュニティセンターって誰でも行っているの？HIVや性感染症の検査ってどうすればいいの？など、最初の一步や疑問に役立つ《情報》が大集合！

展示参加団体：
メモリアル・キルト・ジャパン
NPO法人 ネットワーク医療と人権
NPO法人 CHARM
Bazaar Cafe
MASH 大阪 / コミュニティセンター dista
北陸 HIV 情報センター
AIDS 文化フォーラム in 京都
ロカボを食べながらHIVを知る会 (HIVカフェ)
PLANET (HIVとともに生きる会)
エイズ・コミュニティ・インタビュー・プロジェクト

「メモリアル・ドキュメント・アクション」というテーマ立ては、1994年に横浜で開催された国際エイズ会議の際にビジュアル・エイズが日本のアーティストや市民団体と共に制作した「エレクトリック・ブランケット」という映像作品の構成と同じものです。今回ビジュアル・エイズへの敬意を込めて使用します。

展示と交流